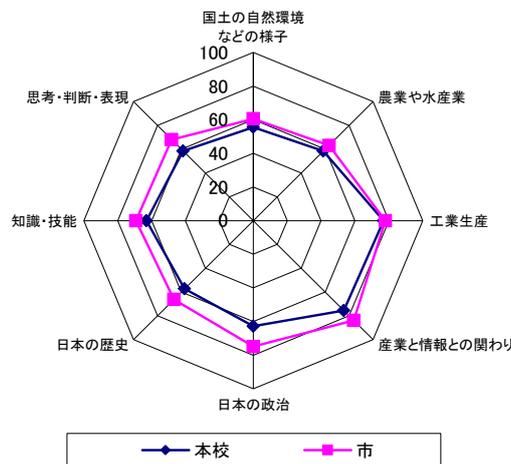


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	55.5	60.5	65.8
	農業や水産業	58.5	63.3	66.0
	工業生産	76.9	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	75.5	83.8	76.6
	日本の政治	62.8	74.9	74.1
	日本の歴史	57.4	66.3	68.3
観点別	知識・技能	63.0	69.3	71.4
	思考・判断・表現	58.6	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は55.5%で、市平均よりも5ポイント低い。 ○森林を守るための間伐についての設問では、市の平均を5.1ポイント上回った。 ●公害の理解についての設問では、市の平均を大きく下回っている。	・基礎的な知識の定着を一層図るため、日常的に地図帳を活用し、日本周辺の海洋や国、領土を確認する習慣をつけ、内容と関連付けて学習することで興味や関心を高めていく。
農業や水産業	平均正答率は58.5%で、市平均よりも4.8ポイント低い。 ○輸入などの外国との関わりにおける課題についての設問では、市の平均を6.3ポイント上回った。 ●日本の主な食料の自給率についての設問では、市の平均を大きく下回った。	・食料自給率について様々な資料を比較するなどの経験を通して定着を図る。また、「世界の中の日本」の単元でも食料生産との関連を意識付けて関心を高めていく。
工業生産	平均正答率は76.9%で、市の平均と同程度である。 ○自動車の製造工程についての設問では3.7ポイント、日本の主な輸出品・輸入品についての設問では2.7ポイント、市の平均を上回った。 ●自動車の部品を再利用する目的についての設問では、市の平均を大きく下回っている。	・自動車工場の作業工程の映像資料などを積極的に活用して関心を高めたり、AIDリルを利用して定期的に復習したりして、学習内容の定着を図る。
産業と情報との関わり	平均正答率は62.8%で、市平均より12.1ポイント低い。 ○情報の発信と受信の注意点について考える設問では、市の平均を下回っているが、正答率が85%を超えている。 ●産業における情報活用の現状について考える設問では、市の平均を大きく下回っている。	・日常生活との関連を踏まえ、社会を支える情報の重要性について理解を深め、実際に自分たちが利用している施設などに挙げたりすることで、興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫を図る。
日本の政治	平均正答率は66.4%で、市平均よりも6.7ポイント低い。 ○平和主義の基本的な考えについて理解する設問では、市の平均を下回っているものの89%を超えている。 ●議会政治について資料をもとに考え、表現する設問では、市の平均を大きく下回っている。	・時事的な話題を学習に取り入れて、関心を高める指導の工夫をしていく。資料から読み取った情報や自分の考えを、伝え合ったり文章にまとめたりする活動を継続的に取り入れていく。
日本の歴史	平均正答率は57.4%で、市平均よりも8.9ポイント低い。 ○鎌倉幕府の政治について理解する設問では、市の平均を7.2ポイント上回った。 ●豊臣秀吉の業績を理解する設問では、市平均を大きく下回った。	・基礎的な知識を身に付けるために、定期的に復習の時間を設ける。各時代の代表的な人物だけでなく、出来事や文化、行事などにも着目し、それらの関連やその背景について総合的に考えられる力の育成を図る。